



県内高校生にはしの使い方を教わる外国人高校生「那覇市・第一牧志公設市場」

## 沖縄そば おいしー



### 公設市場を散策

#### G8 高校生の30人

G8高校生サミットの参加者30人が、二十一日沖縄入り。那覇市内を散策した後、公設市場の食堂などで沖縄の味に舌鼓を打ちながら交流を深めた。

宿泊先からバスで国際通りに移動した一行は、肩を並べ、談笑しながら散策。外国人高校生がビデオカメラ

を回す姿も見られた。第一牧志公設市場内の食堂にはロシア、フランス、カナダ、ドイツと県内外の高校生が集まった。シューマイ、豆腐や沖縄そば、ゴーヤーチャンプルーなどを前に、慣れないはしを使いお

そろそろの食事を口に運ぶ海外からの参加者に、県内の高校生らは笑顔で話しかけ、コミュニケーションをとっていた。

カナダのハリファクス市から来たロビン・ハッチソンさんは、「沖縄そばの風味が気に入った。こうして文化を学ぶことも楽しい」と話していた。

# 国際色豊かに交流



## 福岡、宮崎代表も「沖縄、堪能」

**G8高校生  
参加の30人**

G8高校生サミット(二十四・二十五日、沖縄コンベンションセンター)に参加するG7各国の代表と沖縄・宮崎・福岡三県の代表合わせて三十人が二十二日午前、那覇市天久の那覇国際高校(仲里一彦校長、生徒千七十三人)を訪れ、同校の生徒と交流会を行った。エイサーでの歓迎を受



高校生サミットに参加する各国の高校生と、沖縄の高校生が交流した。那覇市天久・那覇国際高校

けた各国の高校生たちは、交流会で琉舞や空手など沖縄文化の一端に触れ、感激していた。

交流会では、歓迎のあいさつがすべて英語で行われ、仲里校長は「人類の今日的課題についての高校生の真しな討議が、私たちが

さんは「リヨンでは高校に日本語のクラスがあり、私たちも日本語を学んでいる。きょうはよろしくお話しします」と日本語で話していた。

共生できるよりよい社会を創造する大きな一歩となることを期待する」と語った。生徒会長の兼島美華さん(二年)は「あなたたちの沖縄での滞在が生涯、思い出に残ることを願います」と話した。

サミットに参加する各国の高校生に対し、同校の生徒からは学校生活の違いなどの質問があり、英語だけでなく、フランス語やドイツ語なども交えて活発に意見を交わした。

各国の代表の高校生も一人ずつあいさつし、フランスのローレンス・シャルベ